

まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和元年 11 月 21 日（木）13 時 58 分～15 時 33 分

場 所：緑丘公民館

出席者：7 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 今年度のまちの動き（資料①）

※質疑応答

4. これからのまちづくり（資料②）

5. 懇談

6. その他

(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）

※質疑応答

7. 閉会

《質疑応答》

【栗山赤十字病院について】

町長：

日赤病院は、とても大きな問題。近隣の町に声をかけ、広域で連携して総合病院を作ってはどうか、などの意見をいただいている。日赤病院の病床数 136 床を減らして規模を縮小させ、存続する方法もある。町の病院は維持していきたい。入院の 7 割、通院の 8 割は町民が利用している。診療状況を考えると必要性があると思う。

町民：

診療科目が少なく、日赤病院を利用できないこともある。医師の確保が難しいと思う。

福祉総括：

診療科目は、週に 1 回の診療など、医師の確保は難しい。近年については町からの補助を受けて単年度黒字となっている。今後、2025 年までに、国に改善計画を提出するよう、地域医療構想でうたわれている。9 月下旬に道内で再編・統合等が必要な病院として一方的に公表された。

一般病棟（急性期）が調査対象であり、南空知の病院が多く入っている状況だった。南空知の病院はどこも経営が厳しく老朽化が進んでいる。耐震化の問題もあって、スピード感を持った検討が必要と思うが、将来を考えると慎重に進めていかなければならない。今後、いろいろな場面でご意見を賜りたいと思う。

町長：

私も日赤病院に通院しているが、通院したいときに診療日でないこともあり、医師の確保が難しい。全て完結する病院にしていくのは難しいと思う。

町民：

今通院している人たちは、定期通院や薬をもらっている人がほとんど。急性期のときは、日赤では対応してもらえないので、大きな病院へ行っていると思う。

町長：

町内の個人病院が減っていることも要因の一つ。小児科と耳鼻科をセットに通院できるようにしてほしいという声もあった。

町民：

以前、個人病院を集約してメディカルビレッジのようにし、病院機材を用意する負担を軽減させるといった話もあった。医師をそろえるのは難しいが、違う診療科の個人病院が隣に並んでいれば、総合病院のような通院ができるのではないかな。

町長：

今後の参考にさせていただきます。

【栗山高等学校・介護福祉学校について】

町民：

栗山高校はこれほど人数が少なくなっているのか。

教育次長：

今年の入学者は 33 人。町出身の子どもはほとんど岩見沢方面に進学している。栗山町の子どもの学力が高くなったが、学力が高くなると、岩見沢方面の高校に進学する状態になっている。

昔は学区割があったが、今はそれが無くなった。また、少子化で定員割れする学校も増えて、入学しやすくなっている。栗山高校も何か行動を起こさなければならない。高校の魅力づくり委員会を立ち上げて検討していく。普通科以外の学科の検討も含めて考えていきたい。

三笠高校は食物調理科を作り人気が出たが、三笠市内の中学生が入りづらくなってしまった。いい面と悪い面がある。地域の実情を勘案して考えていかなければならない。学生募集に良い案があれば、皆さんのお知恵をお借りしたい。

町民：

高校で給食を出したらどうか。毎日のお弁当作りが親としては大変。

教育長：

給食について、いろいろなところから意見をいただいている。給食を保安する保管庫やエレベーターがない。ハードルは高いが、どうやったらできるかを考えていきたい。長沼高校と同じように、栗山高校が給食を要望しているのか、アンケートなどの調査をしたい。

給食センターは 1,500 食まで作ることができるので、栗山高校が加わっても対応することはできる。

町民：

栗山高校の入学者数が減っているから、介護福祉学校も減っているのか。

町長：

介護福祉士の不足が深刻な状態になってくるが、国は外国人で対応していく方向で考えている。5年前は全国に440校あったが、約20%減ってしまった。養成校を無くさない支援をしてほしいが、なかなか国に声が届かない。

【新規就農・道の駅・スキー場跡地の利用法について】

町長：

新しいまちづくりの息吹も広がってきている。新規就農者も50人くらい増えてきて、農業の担い手も増えている。地域おこし協力隊も新たな挑戦をしていく若者が増えている。小林酒造の日本遺産やボールパークなど、夢のある可能性もたくさんある。

佐賀県では、新規就農者の研修（トレーニングファーム）を作り、専門家の研修を受けられるところがある。福岡県糸島の道の駅は、農産物の売り上げが日本一になっている。そういったところを視察してきた。町には道の駅がないので、そういったところを見て考えていきたい。栗山公園は年間10万人の来場者がある。公園を道の駅にすれば、一日遊べるような施設になる。

町民：

栗山町スキー場跡地をオートキャンプ場にしてはどうか。

町長：

参考にさせていただきます。

【ICTについて】

町民：

ICTに対する町の取り組みはあるのか。

産業総括：

昨年、道の支援で導入した。農業振興公社の推進委員で具体的な検証をして、今後の活用に向けて取り組みを行っていききたい。今後、ドローンなど機械関係以外にも、ハウスの温度管理などの活用に取り組んでいききたい。

町長：

南部地区はICTよりも、光回線を導入してほしいという意見を多く受けている。町でも何かできないか協議している。